

豊 経 建 道 第 5 2 4 号
平 成 2 0 年 1 0 月 1 7 日

国土交通省道路局長 殿

豊見城市長

金 城 豊



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平素より、本市の道路行政へのご指導、ご協力を賜りお礼申し上げます。

平成20年9月19日付け、国道企第37号によりご依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案についてを別紙資料のとおり、市の道路行政としての課題であり、市のまちづくりを推進するための要望事項として提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ①

沖 縄 県 豊 見 城 市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 道路行政全般について改善すべき点

* 道路は、日常生活や産業活動等の都市活動を支える公共施設であり、市内で、特に旧既存集落地域は道幅が狭く、安全・安心な住環境が未整備であり、早急な環境整備が必要不可欠となっている。

これまで、住環境及び生活環境等の都市基盤整備を図ってきたが、バブル崩壊等の社会経済情勢の変化により、市の財政状況の悪化が懸念され、市では平成10年度の財政健全化計画を策定し、行財政改革の取り組みを推進しているところであったが、平成15年度の国の三位一体改革により、地方の財政状況が逼迫した情勢となり、都市基盤整備等への市の財政負担が困難な状況となっている。

地域の活性化、交通アクセスの利便性、安全・安心なまちづくりによる市街地の形成を推進する必要がある。

2. 要望や提案

- * 都市部への交通渋滞解消の為に幹線道路の早期整備
- * 交通拠点までのアクセス道路の強化及び整備
- * 公共・公益施設等へのアクセス道路の整備強化
- * 地域間交流の環境づくりの強化

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

沖縄県 豊見城市

○ 現状

・日常生活の安全・安心の確保及び地域の活性化を図るための道路整備が不十分なため、集落地内の狭隘な生活道路に通過交通などが混入している。

また、法律適用以前の(乱)開発等による既成市街地内の道路は、狭隘な道路が多く、良好な道路空間の確保が困難な状況である。

○ 課題

・集落地域と既成市街地域との交流を促進し、かつ、日常的な交通の安全を確保できる道路を整備することが必要である。

・散策や語らいのできる歩行者空間、緑陰の形成、利便性のあるバリアフリー化等へ対応が課題である。

②-2 地域の目指すべき将来像

沖縄県 豊見城市

市では、総合計画(基本構想・基本計画)を基本に、“みどり豊かな健康文化都市・豊見城”を具現するまちづくりを実践する。

1. 新しいまちづくりとふるさと創生(生活都市基盤の整備)

* 都市基盤の整備

- ・道路網の形成と整備……市民の日常生活や産業活動など、都市活動を支える公共施設の適正配置、ネットワークの形成により、幹線道路や地区幹線道路、生活道路等の整備。

* 快適な生活環境づくり

- ・中心市街地の形成……市の顔となりうる都市機能を有した公共・公益施設等の充実を図り、商業施設等の基盤整備で地域の活性化や利便性の向上を促す。
- ・緑地・公園の整備……良好な都市環境を形成するため、道路や公共施設等への緑化の推進
- ・バリアフリーのまちづくり…交通弱者の日常生活や地域活動を支援する交通のバリアフリー化の推薦

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

④道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

沖縄県 豊見城市

○ 重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
・市街地の形成への活力	西海岸道路(国道331号バイパス) 豊崎地内の市道整備	那覇都市圏と南部広域圏との産業活動等の活性化、交通渋滞の解消、アクセス等が図られている。 新しい市街地の形成が図られ、市の顔となりつつあり、賑わいのある街、安全なまち、住み良い環境整備が図られている。	